

【From Kobe 4月 春爛漫】 コロナ禍の中で迎えた春爛漫 2021.4.7.

神戸の桜便り 元気出してゆこう!!

収録 新聞のコラムより コロナ禍の中で 久し振りに野球とバスケの話題



みんなの「3密」行動節制と医療関係者の献身的努力で
収束するかに見えたコロナ禍ですが、一向に収束せぬコロナ禍 第4波が始まった
もう飽き飽きですが、コロナに「かからない・うつさない」
マスクと手洗い & 「三密」の行動節制 今少し 頑張りましょう



4月になって春爛漫 いかがでしょうか
周りの山は芽吹 里では桜満開 新生の息吹き
気分も新たにコロナ克服へ 元気出していきましょう



マスクをはずして おいしい空気を胸一杯 戸外へとびだした〜い
でも 周りをながめれば、神戸の春がここかしこ
コロナ終息 新しい時代への希望・期待に胸膨らませ 気分も新た
みんな笑顔がとりもどせますよう 今一度スクラム組んで
God be with You !! 2021.4.7. From Kobe Mutsu Nakanishi

神戸の春 桜便り 2021.4.7.



我が街 妙法寺 若草の丘 周囲の山腹は芽吹き芽吹き 桜も満開 うれしい我が町の春景色です

今年も例年より1週間以上早い桜便り画家基地から届く。

4月の始まり、入学式にはもうどこも桜は散ってないだろうが、ヤッパリ桜満開で4月のページを飾りたいと。

3月初め コロナ禍収束にぱっと明るくなった街。待ちゆく人たちもマスク姿ながらなんとなく明るく、待ちゆく学生たちの列にも微笑みが漏れる。これでコロナ終息かとほっと一息。

4月の便り神戸の桜便りで明るく伝えたいと。野球根ラグビーも町での会食も。仲間と顔を合わせて話せるのもうれしいと期待一杯。でも3月下旬からまた再流行 コロナ第4波が始まり、一機に新しい令和3年度の始まりの期待がしぼんでしまいました。4月春爛漫 新しい出会いと出発の令和3年新年度の始まり。

明るく桜便りを送って、みんなと元気に前向いて頑張りたいと4月4日イースターのカードとともに神戸の桜便りを送ります。

3月末一機に街の桜が咲きだし、散歩道の街角には明るい春の草花 そしてモクレン・こぶしの花の香りがほのかに漂い、

ずっと探していた土筆も田圃のあぜでみつけた。

春 新生の息吹き 芽吹いて若草色になった若草山 2021.4.5.

ふと山腹に眼をやるといつの間にもモノトーンから変わったのか芽吹いて明るい春色に。そして春爛漫へ。

今年の春はラッキーなことにマスクのおかげか花粉症も軽い。街での会食はまだまならぬが、ワクチン接種もはじまり、ポストコロナ新時代への出発を伝えるニュースも数多く聞かれるようになりました。

高齢者には4月新たな出会いと出発といってももうピンとこない年になりましたが、元気に前向いて、この春を乗り越えましょう。

みんなお互い連絡取り合って元気に前向いて 笑顔で今を。

また、困難の中にある仲間へ 思いをさせています。

どうか 一人で頑張らず、無理せず 今はみんなに 声あげて!!

仲間がいる。仲間の元気はみんなの応援歌 God be with You!!

2021.4.7. From Kobe Mutsu Nakanishi



神戸の春 桜便り 2021.4.7.



■ 桜のトンネル 板宿 妙法寺川沿いの散歩道 2021.3.27.



2021.3.31. 神戸の春2021 妙法寺川の桜



■ 宇治川が流れ下る丘の上 水の科学館 奥平野の舞桜 2021.3.27.

神戸の街の中心部を見下ろす丘の「水の科学館」の南端の崖に立つ一本桜「奥平野の舞桜」

本年水の科学館の老朽化のため本閉館になって館内からは眺められなくなっているのは知っていたのですが、崖下まで優美に伸びていた枝も含め、きれいに切りそろえられていて、驚きました。その優美な舞姿を崖の下から見上げるのが好き。毎年必ず会いに行き、仲間にも自慢していた一本桜「奥平野の舞桜」。崖の端に立つ老木で無理がたたって勢いをなくしていたのでしょうか？この丘の東端から南へ 街中の楠谷を宇治川が流れ出し、その土手にも市民に親しまれる桜並木が続いている。その崖の下まで精一杯枝を伸ばした舞姿が本当に優美で好きだったので、今は見上げる丘の上になっすぐ堂々と立つ姿。老木の痛々しさはまったくなく、どっしりとした立ち姿。これもよし。

ポストコロナの新時代の元氣な象徴になって、

神戸の街を見おろしてほしいなあ。

おもわず、がんばれよ！ また来年！

また、奥平野の舞桜の舞姿を本年のイースターカードに収めました。



■ 桜並木 水の科学博物館下 楠谷 宇治川の堤 2021.3.27.



再度山楠谷を流れ下る宇治川の桜2021 2021.3.28.

収録 ちょっと気楽に コロナ禍の中で 久し振りに野球とバスケの話題

2021.3.27.神戸新聞 「正平調」
コラムに田辺聖子さんがタイガース
ファンについて書かれた文章が引用
され記事が掲載されていた。

「阪神ファンは時としてとんでもない
猛者がいる。タイガースの負けっ
ぷりに腹をたて、阪年の間にテレビ
2台。ラジオ3台 叩き壊した人が
いる。交友のに限って ごひいき
球団はというと、へへ 一応阪神、なとどとつつましい。」と。

そしてこの正平調氏は「モノは壊さないまでもごみ箱ぐらいは蹴飛ばす。阪神ファンならばいよう。

じちょうされたし」と。そして 今春の阪神の戦いにみんなごきげんうるわしいと。

また、「田辺さんはいくつかある好きな言葉の筆頭に「惚れた弱み」を挙げていた。「シアない。アレには弱い、
というのがある人はまことに好ましい」と。この後も続くのですが・・・

久しぶりの田辺聖子さんの名言。

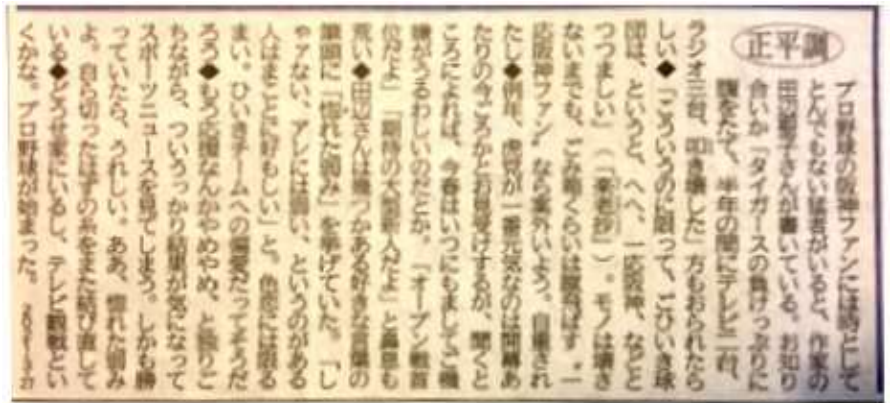
阪神が負けた時の電車 シュンとして みんながみんな黙りこくっている車両。一方怒りまくって盛り上がって
いる人たちの車両もあり、おっかなびっくりで車両をかえたことも。。。。

今はコロナの中 みんな自重しているのだろうなあ・・・と。でも時代が変わっても気質は変わらず。。

田辺さんには 私の故郷尼崎の南の市場界隈の庶民を題材にした作品が幾つもあり、故郷の昔に触れることが多く、
「いるいる こんな人一杯いた 会社にも」と思うのですが、今はどうでしょうか・・・

でも 尼崎の商店街は熱烈阪神ファンの商店街として今も有名。時折、そんな空気を吸いに行く。

田辺さんの話 きくのもひさしぶり この空気 懐かしいなあ・・・と。



左 練習 ボールが5つ見える



試合 とにかくスピード 飛び込んでゆく 3点シュートがすごい



また久し振りに近くで開かれたバスケット B-2 リーグ西宮ストークス対奈良の試合を見た。昔バスケをした時代もあり、また日本リーグの試合を大阪まで見に行っていた時代もある。でも もう30年以上体育館に足を
こんだことがない。

こんなこと披露するのも、今のバスケットは昔の試合と全く会場の雰囲気も選手も何もかも違っている。

で会場に入ると何かラップの乗り。こりゃジャズライブの雰囲気。一緒に乗らな…とうれしくなる。

試合の流れも、雰囲気も随分違うが、一番びっくりしたのが試合前の練習。観客を前にコートに入った選手が開始前約1時間半動きばなし。動きが止まらぬようにいつも5つ以上ボールが投げ入れられ、止まっている選手が一人もない。これが試合前1. 5時間。アップと体慣らしとは全く別物。びっくりでした。こ

れで 試合に入るのか…と。全く運動量が違うのにびっくり。試合も本当に目まぐるしく変化。それこそ休む暇なし。この体力・運動量に試合前の練習理解。見てる方もすごいなあ・・・声出されないが、休むことなし。チェアガールも休む間がない。もうついて行けんが、面白い。大きく時代が変わっていることを身近に感じました。

きっちり整理・まとめてきておらず、すみません。 とにかく元気にやっています。

コロナにかからぬよう 御身お守りください。 2021.4.7. From Kobe Mutsu Nakanishi